

事務事業名 ファイナンシャルプランナー活用事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：1692

施策：	01	計画行政と効率経営の推進	財務コード	01020302-07-098
基本事業：	03	自主財源の確保	担当部	市民生活部
基本事業の成果指標	収納率（市税等） 収納率（使用料及び負担金等） ふるさと応援寄附金収入額（計画期間内累計）		担当課	収納課
			担当係	収納担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成26年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
納税義務者			納税が困難となる原因として、収支バランスの崩壊、収入不足、多重債務、各種ローン、事業不振があります。それらの問題を解決することにより、納税に回せる資金を生み出して担税力を確保するとともに、納税意識の高揚を図るために、専門家であるファイナンシャルプランナーへの相談を実施しています。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			【相談場所】市役所内の相談室 【開設時間】毎月1回 9時～17時（17時以降についても対応） 【相談内容】収入支出のバランス、多重債務、ローン軽減、資金調達等 【申込方法】開催前日までに予約（当日、空きがあれば相談可） 【料金】無料 【周知方法】催告書に案内のチラシを同封・納税相談時に案内 相談時には、職員が同席し、FPのアドバイス・指示等を確認し、進捗状況を把握するように努めている。						
納税困難となる原因が、金銭的な資金等があるため、ファイナンシャルプランナーの指導により、収支の改善等を図り担税力を確保してもらう。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	03年度実績	04年度実績	05年度当初	06年度要求	07年度計画	08年度計画	目標
相談可能枠に対する稼働率（キャンセル含まない）		%	85.5	77.2					40
相談によって納付された額		千円	5,322	2,581					10,000
5. コスト									
事業費		計	千円	660	660	622	468		
		国	千円			0	0		
		県	千円			0	0		
		地方債	千円			0	0		
		その他一般	千円	660	660	622	468		
正職員人工数		人工	0.3	0.3	0.3				
正職員人件費		千円	2,376	2,318	2,345				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	3,036	2,978	2,967	468			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）		【状況】相談件数については、令和3年度が53件、令和4年度が68件と、前年度と比較し15件の増加という結果でした。令和4年度内に収納に結びついた金額は、前年度から2,741千円減少し2,581千円でした。 【原因】生活再建型の滞納整理を職員が推進したことから相談件数は増加しましたが、一方、収納に結びついた額が減少しているのは、コロナと物価の上昇による生活への影響が考えられます。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了		
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
納税意識はあるが納税できない原因として、収支バランスの崩壊、体重債務、各種ローン、事業不振などで納税資力が少ないことが多い。それらを解決できれば、納税の公平性、税収確保も図ることができるという点から事業を開始した。			備考・特記事項 or 進行管理欄						